

2019 年度 社会福祉教育セミナー

これからの社会福祉士・精神保健福祉士養成教育の課題 ー令和元年における新カリキュラム（案）から考えるー

今日、少子高齢化の進展など、社会経済状況の変化によるニーズの多様化・複雑化に伴い、既存の制度では対応が難しい様々な課題が顕在化してきています。そうしたなか、政府は地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えつながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく「地域共生社会の実現」を目指しています。社会保障審議会福祉部会福祉人材確保専門委員会報告書（平成 30 年 3 月 27 日）では、社会福祉士・精神保健福祉士に求められる役割として、制度横断的な課題への対応や必要な社会資源の開発等をあげています。

それらの政策動向を受け、平成 30 年から厚生労働省において社会福祉士・精神保健福祉士養成課程における教育内容等の見直し作業が行われ、令和元年 6 月 28 日に新たな社会福祉士・精神保健福祉士養成教育カリキュラム（案）が公表されました。

今回の教育内容等の見直しは、「SW 専門職である社会福祉士／精神保健福祉士」の養成が前提となっており、新たなカリキュラム（案）においては SW 専門職として社会福祉士・精神保健福祉士に必要な「共通科目の増加」が大きなポイントです。また、養成校においては、これまで以上に「講義・演習・実習」の連動性の強化等が求められるとともに、社会福祉士養成課程では実習時間の増加への対応も必要です。さらに、社会福祉士・精神保健福祉士養成課程における共通テーマとして、「地域共生社会の実現」を念頭に、「SW 実習」は地域における多職種・多機関連携を踏まえた「総合的かつ包括的支援」を学修できるものとする、個別支援に止まらず、社会資源の開発や地域づくり等の地域への支援について学修できること等が求められています。

以上を踏まえ、今年度は国家資格制度が目指す養成教育の方向性・内容について関係者間で理解を共有しつつ、SW 専門職である社会福祉士・精神保健福祉士養成において今後取り組むべき課題と展望について検討・協議することとします。関係者の皆様の参加をお待ちしております。

日 時 2019 年 11 月 9 日（土）11：00～17：30 ※受付 10：30～

場 所 北星学園大学 C500 教室

対 象 養成校教員、実習指導者、社会福祉士、精神保健福祉士、
学生、その他関心のある者 等

参加費 1,000 円 ※学生無料

主 催 日本ソーシャルワーク教育学校連盟北海道ブロック

共 催 公益社団法人北海道社会福祉士会

一般社団法人北海道医療ソーシャルワーカー協会

一般社団法人北海道精神保健福祉士協会

プログラム

司会：杉浦 理恵（北海道福祉・保育大学校／事務局）

10：30 受付

11：00 開会挨拶

伊藤 新一郎（ソ教連北海道ブロック会長／北星学園大学）

11：10 基調講演

「社会福祉士・精神保健福祉士養成新カリキュラム（案）の要点と養成教育の課題」

白澤 政和（ソ教連会長／国際医療福祉大学大学院教授）

12：30 昼休み

13：20 シンポジウム第1部

「SW 専門職である社会福祉士・精神保健福祉士の養成教育における課題

～新カリキュラム（案）を踏まえて～」

発題者①：巻 康弘（北海道医療大学）

発題者②：永井順子（北星学園大学）

発題者③：越石 全（札幌医学技術福祉歯科専門学校）

発題者④：久慈隆之（特別養護老人ホーム厚別南5丁目）

発題者⑤：橋本達志（こころカ・プロダクション）

司会：伊藤 新一郎（ソ教連北海道ブロック会長／北星学園大学）

コメンテーター：白澤 政和（ソ教連会長／国際医療福祉大学大学院教授）

15：50 休憩

16：00 シンポジウム第2部

第1部を受けてのグループディスカッション

「新カリにおける養成校及び現場が取り組むべき課題」（連携すべき点等）

17：00 シンポジウム第3部

第1部・第2部を踏まえた全体討議

17：30 閉会挨拶

畑 亮輔（ソ教連北海道ブロック副会長／北星学園大学）